



鹿児島県議会議員 秋丸 健一郎

秋丸だより

Vol.7
2024年12月
議会報告号
(2025年2月発行)

言志

秋丸 健一郎

12月16日、身につけていたスマートウォッチから「心拍数が上がっています」の警告が出ました。(下グラフは警告が出た日と通常時の比較)

何かトレーニングをしていたわけではありません。この日は、県議会の総務警察委員会での参考人招致をした日でした。

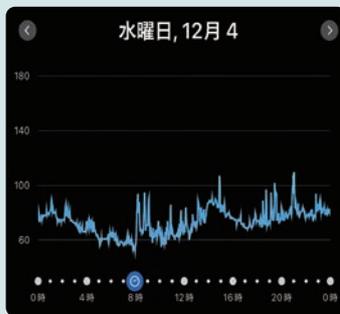
これまで県警は、非違事案等の問題に直接関わった当人ではなく、その後任が「〇〇と聞いている」「〇〇と思います」と言った伝聞・推測での答弁をしていたため、私が属する会派、県民連合から総務警察委員会における参考人招致を要求し、そのうちの一部の方について委員会への招致が実現しました。枕崎の盗撮事案の時に、野川前本部長の指示を枕崎署の署長に伝えたという首席監察官、ストーリーカー案件の起こった時の霧島警察署長、文書破棄を促すような表現を記載した刑事企画課だよりを作成した時の刑事企画課長。

私は、委員外議員として質問もしましたが、ほとんどの時間は、他の議員の質問とそれ

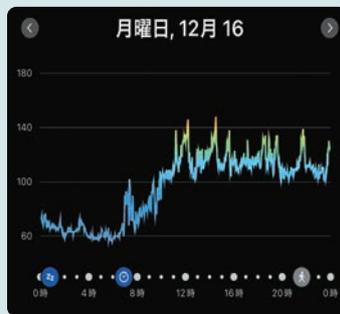
に対する答弁を聞いている時間を一言も聞き漏らすまいと、緊張していたようです。

1月15日で52歳を迎えました。健康のありがたみが歳を重ねることに沁みてきます。よく、皆様から、「健康には注意しなさいよ」と声をかけていただきます。

この年になると「健一郎」と名付けた親の気持ちに、感謝しきります。



【会議のない日の心拍数】



【総務警察委員会の日の心拍数】

霧島市・湧水町 県議会トピック

予算

補正予算可決。霧島市・湧水町関係 土木予算、約8億3千4百万円

第四回定例会において、補正予算として約500億円が可決。成立し、県の一般会計予算額は約8964億円となりました。

補正予算のうち、土木関係の予算が約309億円と大半を占めています。

テナンス、大規模特定砂防等(急傾斜)事業として、国分敷根脇元地区、国分郡田山元地区、隼人町松永宇都地区、横川上ノ古城地区、牧園町下中津川荒田地区、霧島田口楡山地区(龍泉寺先)の予算等が。

湧水町関係では国道268号

霧島市関係では、溝辺道路の設計等の費用や、国分重久牧神付近、国道504号隼人町西光寺(鹿児島ラーメン付近)の道路補修、隼人町松永の小鹿野発電所付近の落石対策事業、国分重久の山之路谷川の砂防堰堤(水流や土砂をせき止める防災のための堤防)のメン

「九州丹田の街」看板付近の道路補修、川添川、川西、鯛吾川の砂防関係事業等などに関する費用、合計約8億3千4百万円の予算が含まれています。うち5億以上が砂防事業等で、災害対策の事業に力を入れていることがわかります。

事業

みやまコンセルパイプオルガンの 制作現場公開が行われます

6月完成予定のみやまコンセルのパイプオルガンについて「制作現場見学会」が行われることとなりました。1回目は1月25日に開催され、2回目は3〜4月頃を予定しています。

見学会では制作者の話や、聞き取り、組立工程や整音作業の様子をご覧いただけます。参加予約は、みやまコンセル(☎0995788000)まで、お問い合わせください。

ハイライト 01 | 引き続き問われる 鹿児島県警の不祥事について

11月5日、鹿児島県警のトップである本部長が交代。野川前本部長に変わり岩瀬聡警視長が就任されました。

12月議会では、自民党県議団、県民連合の代表質問だけでなく、一般質問でも多くの議員が、県警改革について新本部長に伺いました。

9月議会で百条委員会の設置議案が否決されました。

議案に反対した自民党県議団は「今後の前生活安全部長の裁判の状況によっては百条委員会を設置する」としていますが、裁判開始は夏以降と言われ、また、この裁判がいつ終わるのかもわかりません。

今回の総務警察委員会でも参考人招致も含め8時間の審議が行われました。今後も時間を割いて総務警察委員会でも再発防止策を軸とする県警改革について取り扱われるでしょう。

総務警察委員会の前の週、KKBが「秩序と闇」という県警問題の特集番組を放送しました。(今もインターネットで見ることができます)

私は、岩瀬本部長に「番組をご覧になりましたか」と尋ねると、明快に「拝見しました」と答えられ、また、同番組でも取り上げられていた、県警の非違事案の被害者が「謝罪がない」と言っていることに対し、「謝罪はした、というスタンスではなく、あらためて謝罪をするべきではないか？」と尋ねたところ、「当事者が納得していないければ、説明は必要。警察に非があれば謝罪するのは当然」と答えられました。

ハイライト 02 | 半導体企業誘致に関する 県の取り組みについて

私が所属する総合政策建設委員会は、10月31日に熊本県の菊陽町を視察しました。

菊陽町は元々、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(以下「ソニー」)や東京エレクトロンなどの半導体関係企業の工場があった工業団地周辺が渋滞が発生していましたが、台湾の半導体企業TSMCが約1兆2900億円を投資して工場を建設したことで、さらに深刻な状態になり、急ピッチで渋滞解消のための道路の拡幅・改良が同時並行であちこちで行われていました。

ソニーの第2工場もすでにすぐ近くに着工され、TSMCの第2工場も建設が発表されています。

街の様子があまりにも急速に変わっていく様子に、視察に行った議員は皆、「国策での工場誘致だから、道路改良も国が先頭切って進めている、投資額とスピード感が参考にならない」と口を揃えました。

この視察を受け、議会中の委員会では、「TSMCの誘致に際して、事前に鹿児島への話はなかったのか?」「知事は経済産業省に居たわけだが知らなかったのか」といった質問がなされました。これに対して「TSMCとソニーの方で進めていたようで、熊本も直前まで知らなかったと聞いている」「知事が経済産業省に在籍していた時期と異なるので知らなかったようだ」との答弁がありました。

この答弁に対して、私は「以前、ソニーの関係者から『熊本と長崎は県と地元自治体とが一体となって誘致に働いたが、鹿児島はそうではなかった』という話を聞いたことがある。何が問題だったのかはわからないが、ソニーとうまく話ができたら、今頃TSMCは鹿児島に来ていたかもしれない」と指摘しました。

秋丸の発言

12月の総合政策建設委員会

- TSMC等半導体企業誘致に関する県と市の協調について
- 鹿児島空港のインバウンド・アウトバウンドの把握について
- きりしまMワゴンの県内への展開について
- 畜産GXのアミノ酸飼料実験の状況について
- RESASの県庁内での活用について
- 中央駅西口の工業試験場跡地の活用について
- 建築確認等手数料の改正について
- 土木関係の契約変更について
- 霧島地区の倒木被害に関する損害賠償について
- 居住支援協議会・居住支援法人の育成について



会議録の
検索ページ

委員会視察 熊本・福岡地区 2024.10.31-11.1

熊本県菊陽町の交通渋滞対策と、平成29年の九州北部豪雨災害で大規模な被害を受けた福岡県朝倉市を視察しました。

朝倉市では阿久根市出身の恒吉徹氏(朝倉市政策監理官、独立行政法人水資源機構出身)が災害復興とまちづくりの取組を説明。故郷鹿児島からの視察という事で、涙ながらに迎えてくださいました。災害時の状況は筆舌に尽くしがたい内容でしたが、その後の復興計画に影響する土地所有者や地域住民との合意形成でも大変苦労されたそうです。鹿児島出身の方が、他県で必死に災害復旧に従事されている姿に胸を打たれました。



当時の被害状況を語る恒吉徹氏



県政に対するご意見・ご要望などお気軽にご相談ください。皆様の思いを県政に届け、より良い未来を作ることが県議員の役割です。

上ではなく、前に立つ。

秋丸健一郎事務所

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目9-22 キャニオン105国分-102

TEL 0995-50-0880

FAX 050-3588-6760

MAIL k16.akimaru@gmail.com



公式リンク